

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 平成 21年 2月12日

【評価実施概要】

事業所番号	"0175000181
法人名	社会福祉法人 北見睦会
事業所名	グループホーム かがやきの里むつみ
所在地	〒 090-0067 北見市緑ヶ丘3丁目29-2 (電 話) 0157-69-7745

評価機関名	(有) NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成 21 年 2 月 3 日

【情報提供票より】(20年12月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 4 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	11 人 常勤 6人, 非常勤 5人, 常勤換算 1,6人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	15,000~20,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(12月5日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	4名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86.2 歳	最低	74 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	総合病院 北見赤十字病院 ・ 医療法人社団 金山歯科医院
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームかがやきの里むつみは、市内近郊高台の住宅街に位置し静かな環境に在り、近くには母体が運営するデイサービスセンター、ホーム2階部分は自立支援のデイサービスになっています。普段から家族の訪問が多く、焼肉会・クリスマス会等の行事も、家族と共に過ごしています。またホーム主催の『かがやきの里まつり』には利用者・家族・地域の方やボランティアの人が多く集まり、焼鳥・焼きそば・ヨーヨー・子供ゲーム等の屋台が並びホームを理解して頂けるよう取り組んでいます。施設長から『流しソーメンをしてみたい』との言葉に家族が道具を作って下さり夏空の下、流しソーメンを行い楽しいひと時を過ごしています。家族・職員がとても仲が良く利用者の事を第一に考えている温かみのあるホームとなっています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価の改善点を管理者・職員が一体で取り組んでいます。家族への報告として利用者の毎日の様子を綴った手紙とホームの行事等の写真が多く掲載されたホーム便り『かがやきだより』を作成し毎月家族に送付しています。利用者との馴染みの関係を築く為に、職員の異動がない様に配慮しています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価を作成するにあたり評価の意義は十分理解しています。職員一人ひとりが自己評価を行いそれを管理者が纏めミーティングで話し合いサービスの質の向上に努めています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は今年度5月・12月に開催されており、参加者は町内会長、包括支援センター職員、訪問看護師、利用者家族、施設長、管理者、介護職員でホームの概要・活動報告・行事予定の他、家族等の意見・要望も話し合われています。要望についてはミーティングで話し合わせ質の向上に努めています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族への報告は、毎日のホームでの様子を綴った手紙と、行事等の写真を沢山掲載したホーム便りを毎月送っています。家族会や運営推進会議、家族訪問時にも気軽に話せる雰囲気作りにも努めています。また、意見箱の設置や苦情相談窓口の表示を重要事項説明書に記載し説明しています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入しており、草刈や廃品回収や焼肉などの町内会行事にも積極的に参加し、ホーム主催の行事の案内も町内会にお知らせしています。『かがやきの里まつり』には地域の方やボランティア、家族等が参加され、中学生の体験学習や、社協主催の小学生ボランティア体験等の受け入れも行っています。また、町内会の会議等にホーム2階の場所を提供し地域との交流も図っています。</p>

(有)NAVIRE

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『ゆっくり、少しずつ、自分らしく、ありのままに』を理念に掲げており、その理念に基づき日々のケアサービスに取り組んでいます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用の際に理念を説明しています。毎日のミーティング時に理念を唱和し、日常的に実践出来る様に努めています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、草刈・廃品回収・焼肉等町内会の行事に積極的に参加しています。ホーム主催のお祭りを行い、地域の方・家族・利用者等と交流し、ホームを理解して頂けるよう努めています。また、ボランティアの受入も行っています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び職員は、自己評価に熱心に取り組み、外部評価についても前向きな姿勢が見られ質の向上に努めています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は5月12月に開催され、ホームの活動報告・行事計画や入居者の暮らしぶりや自己評価についての説明等話し合われています。参加出来なかった家族には議事録を送り報告しています。	○	今後、運営推進会議の定期的な開催と、自己評価及び外部評価の結果を公表しながら委員の助言を得るなど運営推進会議と評価が一体的に活かされるよう配慮して、サービスの質の向上に結びつくよう期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営やサービス提供に関する相談事・改善点等があれば市町村担当者と話し合いサービスの質の向上に努めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者一人ひとりの毎日の様子を綴った手紙と、ホームの行事等の写真を掲載したホーム便りを一緒に送付しています。家族の訪問時には必ず職員が話し掛け気軽に話し合えるよう心掛けています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族会の時に家族の意見・要望等が出された場合、それらを運営に反映させています。意見箱を設置し、苦情相談窓口は重要事項説明書に記載しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	施設長は、運営者に理解を求め、職員の異動や離職等は最小限になるような協力体制にあります。異動等があった場合は、利用者にも与えるダメージが最小限に抑えられる様に声かけを多くする等に心掛けています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会主催等の講習会や勉強会に積極的に参加しています。研修に参加した職員は会議等で報告し職員に資料配布しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会主催の勉強会等や、数箇所のグループホームが集まり行っている合唱団への参加等の交流もあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気などに徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心し納得した上でサービスが受けられる様、事前に利用者・家族にホームの見学をしていただき、生活暦を把握しながら徐々に馴染めるような職員の接し方に努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であると職員は認識しており、また生活する中で教えてもらう事も多く、一緒に支え合う関係を築いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの生活暦を把握すると共に、日々のかかわりの中での言葉や表情から利用者の意向や希望を把握し、職員間で検討しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮らせるよう、本人・家族の思いや意向を反映させるよう職員間で話し合い、介護計画の作成に努めています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員は常に利用者の状況を把握し、変化等があった場合計画書に赤字で記入するようにし職員間で話し合い随時介護計画の見直しを行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診や緊急時など家族が対応出来ない場合の支援を行っています。また、母体が運営するデイサービスセンターに週1度通い、利用者の楽しみや地域との交流の場としての支援も行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望する医療機関に受診出来る様支援し、診断内容、服薬等について情報の共有がなされています。また、協力医の往診や週1度訪問看護師による健康管理もされています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合における対応に係わる指針を定めており家族には十分説明し同意を得ています。また、本人及び家族の希望を尊重し今後の方針を共有できるよう努めています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護法の意義を理解しながら、利用者の誇りやプライバシーを損なわない対応、声掛け等を常日頃より協議し職員の意識向上に努めています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は業務を優先することなく、利用者のペースにあった支援を心掛けています。午前中、週に何度かデイサービスに通って体操を行いたい、散歩に出掛けたい等、一人ひとりの希望を尊重しています。利用者の状態によっては職員体制の調整も行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	菜園で育てた食材で調理したり、職員も一緒に食事をすることで、和やかな雰囲気となっており、後片付けも本人の希望や力量に応じて一緒に行っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴出来る体制で、利用者一人ひとりの希望に応じ支援しています。入浴を嫌がる場合は無理強いせずに声かけ等に努めています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で洗濯物をたたむ、食器を片付ける等自分の出来ることを積極的に手伝っています。体操したり歌ったり、本を読むなど一人ひとりの楽しみ事の支援も行っています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な散歩や利用者の希望に応じ一緒に出掛けたり、週1度のデイサービスへの通所や、合唱団への定期的な外出支援をしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵を掛ける事の弊害について理解しており、日中は鍵を掛けず職員の見守り方法を徹底し、夜間のみ安全の為施錠しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、消防署の協力を得て年2回の避難訓練を実施しています。夜間や緊急時などの地域住民の協力の必要性を理解しており運営推進会議等で声掛けを行っています。	○	あらゆる場面を想定した訓練が必要だと思われます。ホーム職員のみならず、地域の人々にも参加を促し実践に即した訓練の計画及び協力体制作りを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事量と水分摂取量を記録し職員間で共有しています。月に1度管理栄養士に確認してもらい支援の見直しに繋がっています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広々としたホールには大きな窓があり日当たりも良く、両端にソファーやテレビ、居室前の廊下に木製ベンチが置かれ利用者がそれぞれ落ち着ける場所があります。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、利用者の馴染みの家具やソファー、家族の写真が飾られ、各自の個性を大切に部屋作りがされています。		